

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2002 年 1 月 31 日

派遣者氏名（専門分野）	生野 昌範（インド学・仏教学）
-------------	-----------------

派遣期間	2011 年 10 月 4 日 ～ 2011 年 12 月 5 日
------	-----------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
ドイツ	ゲッティンゲン	ゲッティンゲン大学

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

報告者は、ゲッティンゲン大学に所蔵されている写本資料の蒐集を行なった。ゲッティンゲン大学の写本資料は、ラーフラ・サーンクリティヤーヤナによって 1929 年から 1938 年にかけてチベットで撮影されたネガ写真と、彼に由来するものではない写本資料とに大別される。

その内、ラーフラ・サーンクリティヤーヤナによって撮影されたネガ写真に関しては、目録が公表されている [F. BANDURSKI, “Übersicht über die Göttinger Sammlungen der von Rāhula Sāṅkītyāyana in Tibet aufgefundenen buddhistischen Sanskrit-Texte (Funde buddhistischer Sanskrit-Handschriften, III),” in, *Untersuchungen zur buddhistischen Literatur*, Göttingen 1994, pp. 9-126; S. BRETfeld, “Nachträge zur “Übersicht über die Göttinger Sammlungen der von Rāhula Sāṅkītyāyana in Tibet aufgefundenen buddhistischen Sanskrit-Texte” von Frank Bandurski,” in, *Untersuchungen zur buddhistischen Literature II*, Göttingen 1997, pp. 41-46]。報告者にとって必要な資料は、ニーダーザクセン州、兼ゲッティンゲン大学図書館（Niedersächsische Staats- und Universitätsbibliothek Göttingen）に収蔵されているので、そこで必要な手続きを行なった。パスポートを預け、写本資料の整理番号を申告することにより、必要な写本資料を閲覧することができる。さらに手続きをすれば、写本資料の CD-ROM への複写も行なうことができる。その手続きによる複写には、ネガ写真 1 枚につき 1.5 ユーロの複写代と CD-ROM 1 枚 5 ユーロの代金が必要である。また、複写に要する期間は報告者の場合 1 カ月程度であったが、閲覧の際に持参したデジタルカメラによる撮影も併せて許可された。

一方、ラーフラ・サーンクリティヤーヤナによって撮影されたネガ写真以外の写本資料に関しては、現在までのところ目録は作成されていない。報告者は、Klaus Wille 博士に教えていただいて、関連する写本資料がゲッティンゲン大学インド学・チベット学研究室（Seminar für Indologie und Tibetologie）に所蔵されていることを知った。そして、Thomas Oberlies 教授の許可を得た後に、その写本資料の閲覧・貸出・複写を行なった。

さらに、ゲッティンゲン大学の科学アカデミー（Akademie der Wissenschaften zu Göttingen）にトゥルファン出土仏教文献に基づくサンスクリット語辞書（Sanskrit-Wörterbuch der buddhistischen Texte aus den Turfan-Funden）を編纂する機関が設置されており、ここにおいて Wille 博士から写本についての多くの教示を受けた。しかし、この機関は、一般には公開されていない研究機関であり、利用するには所長（現在はミュンヘン大学の Jens-Uwe Hartmann 教授）の許可を得ることが必要である。